

## 【メンター制度表彰 優秀賞】国立大学法人名古屋大学

住 所：愛知県名古屋市千種区不老町  
 ホームページ：http://www.nagoya-u.ac.jp/  
 教職員：4,287人（内訳：男性2,646人 女性1,641人）  
 学 生：16,597人（内訳：男性11,471人 女性5,126人）  
 業 種：大学

### 1. 取り組み・支援に至る経緯・理由

赴任間もない新任教員にとって、大学における活動に不安はつきものである。特に近年では人件費の削減、任期制の導入など大学教員職の不安定化が進んでいる。そのような背景のもと名古屋大学では、2005年より新任教員が大学教員としてキャリアを築く上で相談することができる教員メンタープログラムを開始した。

大学においては、教員の職能開発が大学設置基準という法令により義務化され、研修制度が整ってきている。しかし、研修の中心は集合研修であり、個々の多様なニーズを踏まえた支援が十分ではない。さらに厳しい大学教員市場の中で新任教員のキャリア支援とともに心理的支援も大きな課題である。

教員メンタープログラムは、大学において一定の職務経験をもつ教員と交流することで、新任教員が大学教員として成長していくことを支援するものである。メンティ教員のキャリア面と心理面での支援を図るとともに、メンター教員にとっても意義のある活動として位置づけている。

### 2. 具体的な取り組み・支援の主な内容

名称		名古屋大学教員メンタープログラム (含：女性教員メンタープログラム)	
開始年月		2005年4月	
		女性	男性
メンターの累積人数		21人	19人
メンティの累積人数		28人	12人
直近1年 の実績	メンターの層・人数	中堅教員：18人	中堅教員：10人
	メンティの層・人数	入職後3年目まで：21人	入職後3年目まで：7人
1タームの運用期間／選考方法		6か月／自己応募型（一部指名型）	

名古屋大学の「教員メンタープログラム」にはいくつかの特徴がある。まず、教員の主体性を重視しているという点である。新任教員といっても30歳以上の者が大半であり、キャリアやネットワークをつくるのは第一義的には新任教員自身の課題であるということを前提としている。事務局はマッチング、支援、フィードバックなどは行うが、活動の目標や方法などはメンター教員とメンティ教員の間で主体的に決めている。つまり、日常的自然発生的な非公式なメンタリングの要素を取り入れた形で運営している。また、各種研修

と連動しているという点も特徴と言える。事務局を担当している組織は、高等教育研究センターと男女共同参画室であり、前者は学内の各種研修活動を担当しており、メンタープログラムが新任教員研修や各種研修と連動して設計されている。

メンター活動は、申し込み、マッチング、初回のミーティング、定期的な活動、フィードバックという流れで構成されている。メンター教員およびメンティ教員がメンター活動を効果的に進めるために、「メンター教員のためのガイド」および「メンティ教員のためのガイド」を発行している。また、メンター教員として希望の多い女性教員を紹介するための冊子『理系に生きる女性たち！ROLE MODEL BOOK』も発行している。

「女性教員のためのメンタープログラム」は、「教員メンタープログラム」の中で、特に女性教員に向けて案内をしているものである。名古屋大学方式女性研究者採用加速・育成プログラム事業で採用された教員は、入職時から2名以上のメンターが配置され、本年度の女性教員のうち4名が対象となる。その他のメンティは自己応募型である。

### 3. 取り組み・支援による具体的効果

まず、メンタープログラムの意義が浸透してきたことがある。年々利用者は増加しており、2011年度は28名の教員メンタープログラムへの申し込みがあった。自己応募型でこの規模の教員が参加したことは、プログラムの意義が着実に学内に浸透してきていると言える。また他大学からもプログラムに対する情報提供の依頼もある。

次に、メンティ教員にとって、悩みを解決できた、教育や研究を進める上でアドバイスをもらえた、学内のネットワークができたなど、さまざまな面での成果が見られた。さらに、メンター教員にとっても、若手から刺激を得られた、自身の過去を振り返り前向きな気持ちになれたなど、さまざまな意義が見られた。

また、管理職に占める女性の割合（※注）や、教員に占める女性の割合が増加した。事業規模1億円以上の大型の競争的研究資金（平成22年度最先端・次世代研究開発支援プログラム）を、女性教員が3名（全体で12名）獲得しており、学内でも女性教員の躍進の表れと評価されている。（※注：管理職の定義：教員の場合は教授、事務職員の場合は課長級以上、病院は看護部長・看護副部長、薬剤部長など、附属学校は副校長以上）

#### <管理職に占める女性の割合>

	2009年4月時点	2010年4月時点	2011年4月時点
管理職に占める女性の割合(%)	6.7%	6.8%	7.3%

#### <教員に占める女性の数と割合>

		教授	准教授	講師	助教	助手	合計
		2009年	女性人数	37人	75人	11人	65人
	女性比率	5.7%	14.8%	9.3%	15.0%	75.0%	11.3%
2010年	女性人数	37人	76人	9人	69人	6人	197人
	女性比率	5.8%	15.1%	8.1%	15.8%	66.7%	11.6%
2011年	女性人数	38人	74人	13人	70人	6人	201人
	女性比率	5.7%	14.6%	11.7%	16.3%	66.7%	11.7%